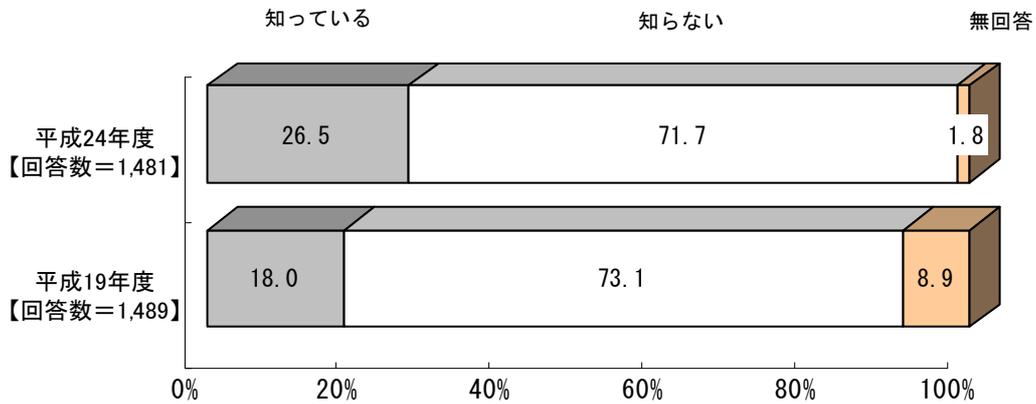


#### 4. 「男女共同参画センター・イコーラム」について

問 18. あなたは、「男女共同参画センター・イコーラム」を知っていますか？  
 (〇は1つだけ)

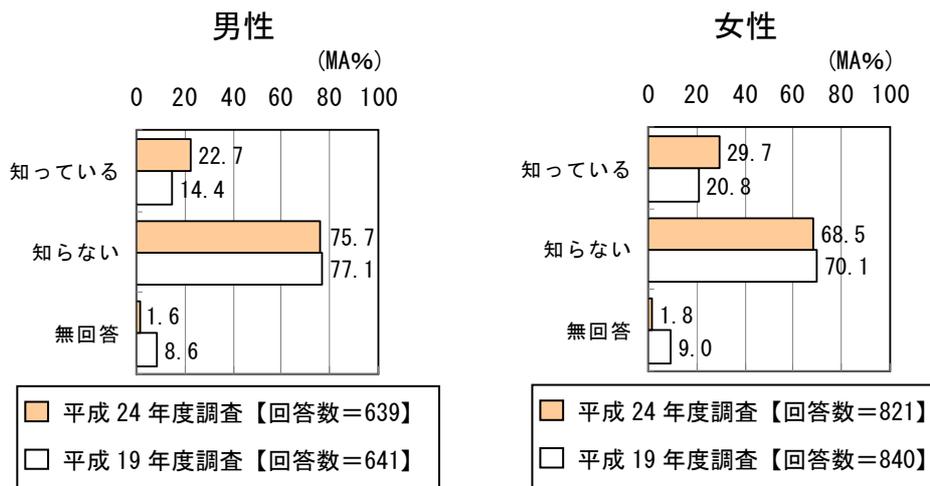
図 4-1 「男女共同参画センター・イコーラム」の認知度



「男女共同参画センター・イコーラム」の認知度をたずねた。「知っている」が26.5%、「知らない」が71.7%となっている。

平成19年度調査と比較すると、「知っている」が8.5ポイント増加している。(図4-1)

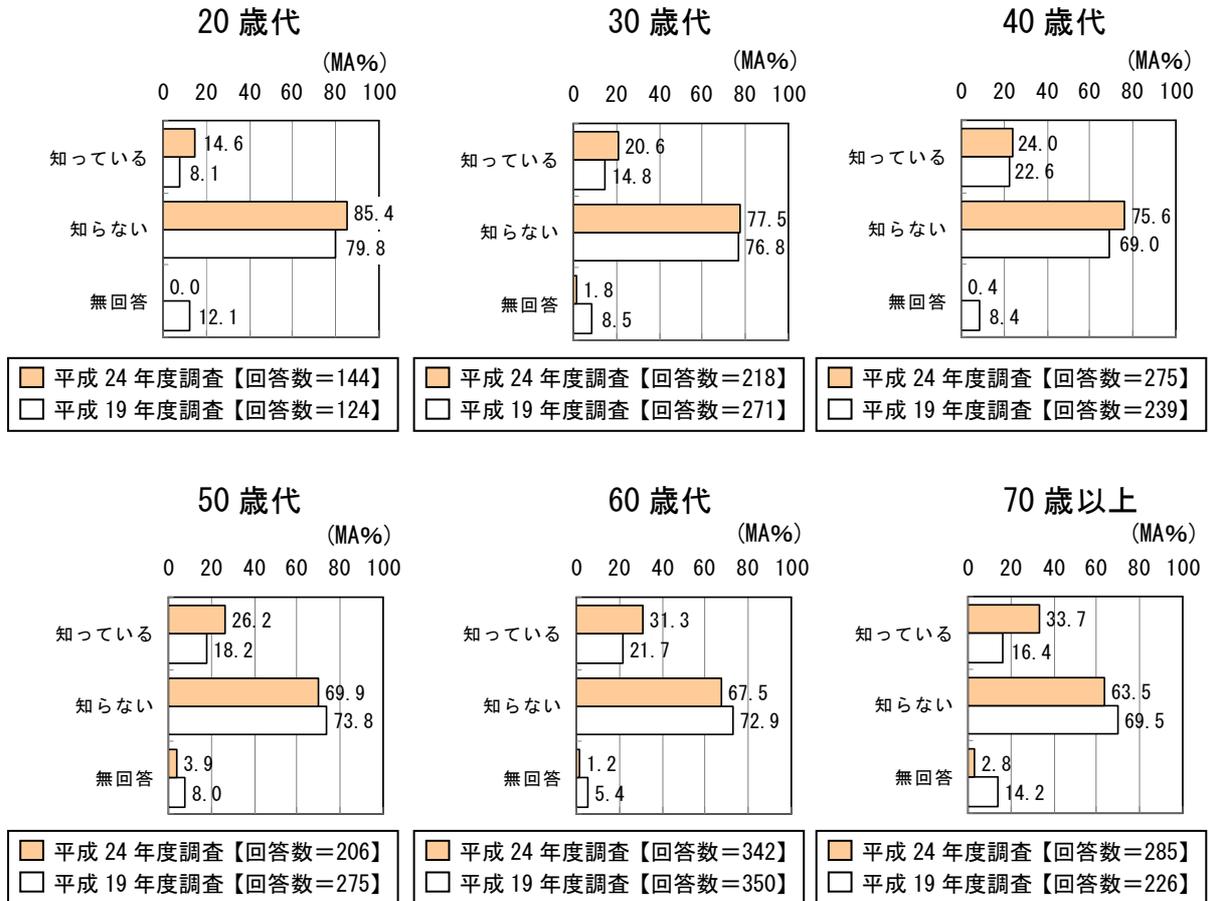
図 4-2 性別 「男女共同参画センター・イコーラム」の認知度



性別にみると、『男性』で「知っている」が22.7%となっており、『女性』に比べ7.0ポイント低くなっている。

平成19年度調査と比較すると、男女ともに「知っている」が1割弱増加している。(図4-2)

図 4-3 年代別 「男女共同参画センター・イコーラム」の認知度



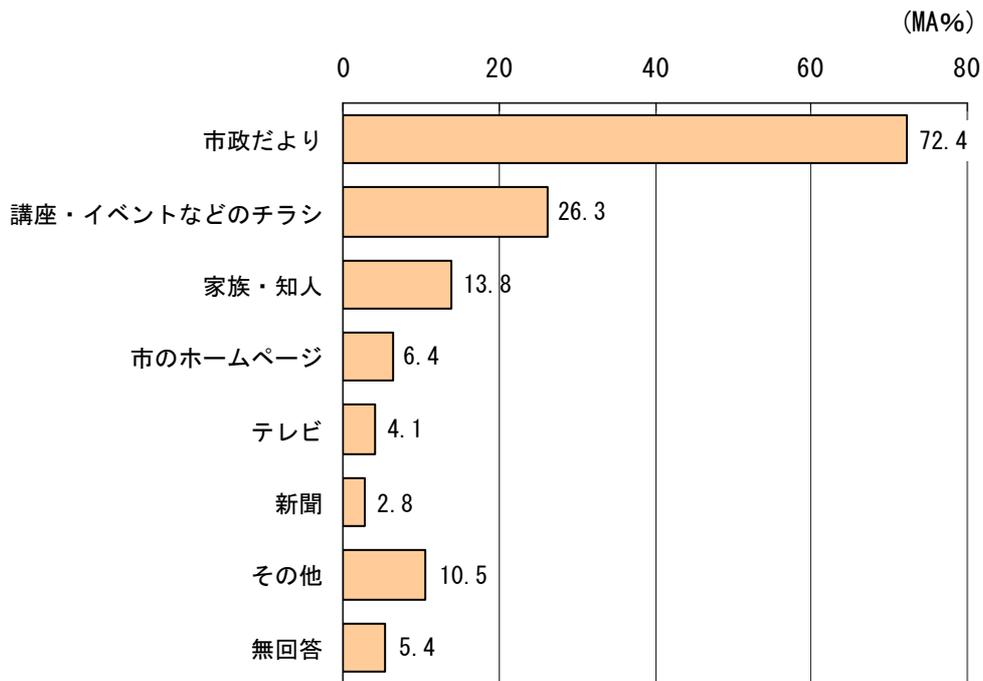
年代別にみると、年代が上がるにつれ、「知っている」が高くなっており、『70 歳以上』で 33.7%となっている。一方、『20 歳代』で 14.6%にとどまっている。

平成 19 年度調査と比較すると、すべての年代で「知っている」が増加しているが、なかでも『70 歳以上』で 16.4%が 33.7%と約 2 倍の増加となっている。(図 4-3)

問18で「1. 知っている」を選んだ方におたずねします。

問18-1. あなたは、何（誰）を通じて「男女共同参画センター・イコーラム」を知りましたか？（〇はいくつでも）

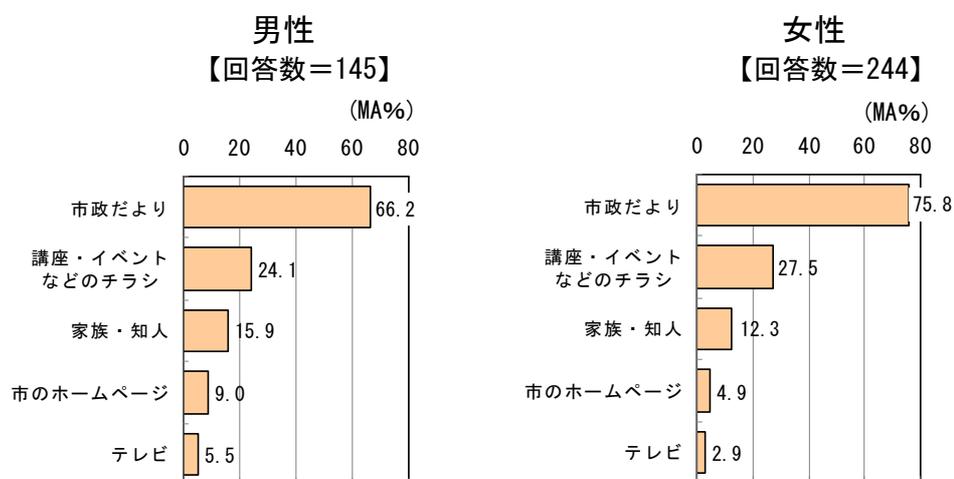
図4-4 「男女共同参画センター・イコーラム」を認知した情報の入手先（複数回答）



【回答数=392】

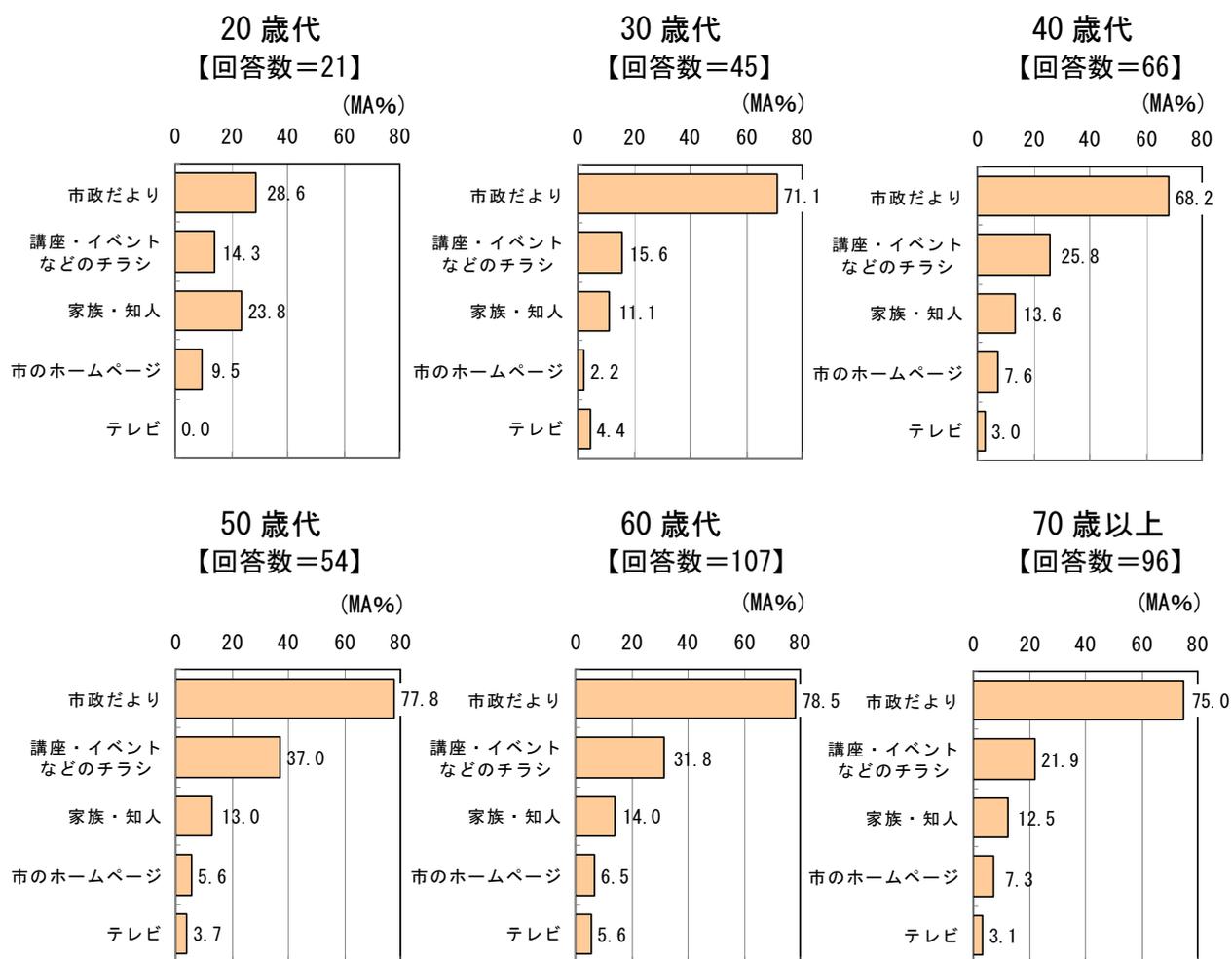
「男女共同参画センター・イコーラム」を知っている人の認知した情報の入手先をたずねた。「市政だより」が72.4%と最も高く、次いで「講座・イベントなどのチラシ」が26.3%、「家族・知人」が13.8%、「市のホームページ」が6.4%などの順となっている。（図4-4）

図 4-5 性別 「男女共同参画センター・イコーラム」を認知した情報の入手先  
【上位5項目】（複数回答）



性別に上位5項目をみると、男女とも全体と同様の傾向となっている。『女性』は「市政だより」が75.8%で『男性』に比べ9.6ポイント、「講座・イベントなどのチラシ」が27.5%で『男性』に比べ3.4ポイント高くなっている。（図 4-5）

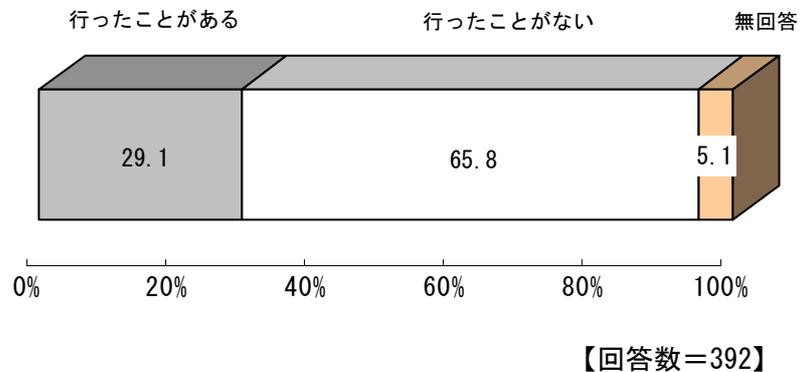
図 4-6 年代別 「男女共同参画センター・イコーラム」を認知した情報の入手先  
【上位5項目】（複数回答）



年代別に上位5項目をみると、『40歳代』以上は全体と同様の傾向となっている。『20歳代』で「家族・知人」が23.8%と他の年代に比べ高くなっている。『30歳代』で「市のホームページ」に比べ「テレビ」の方が高くなっている。（図4-6）

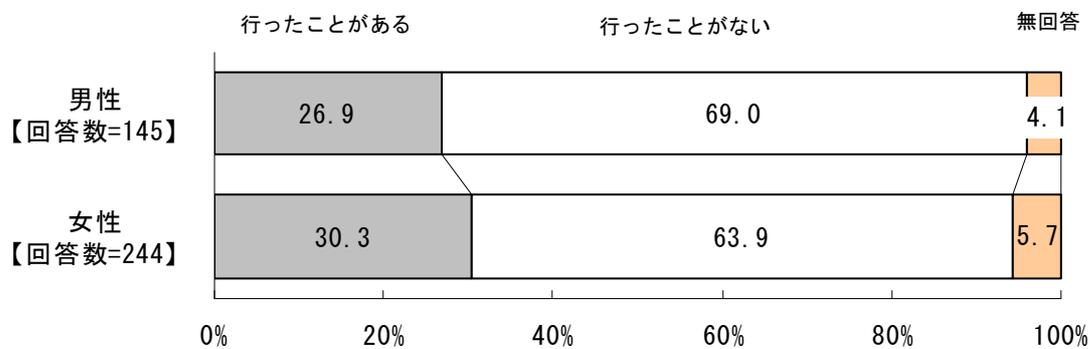
問 18-2. あなたは、「男女共同参画センター・イコーラム」に行ったことがありますか？（○は1つだけ）

図 4-7 「男女共同参画センター・イコーラム」の利用状況



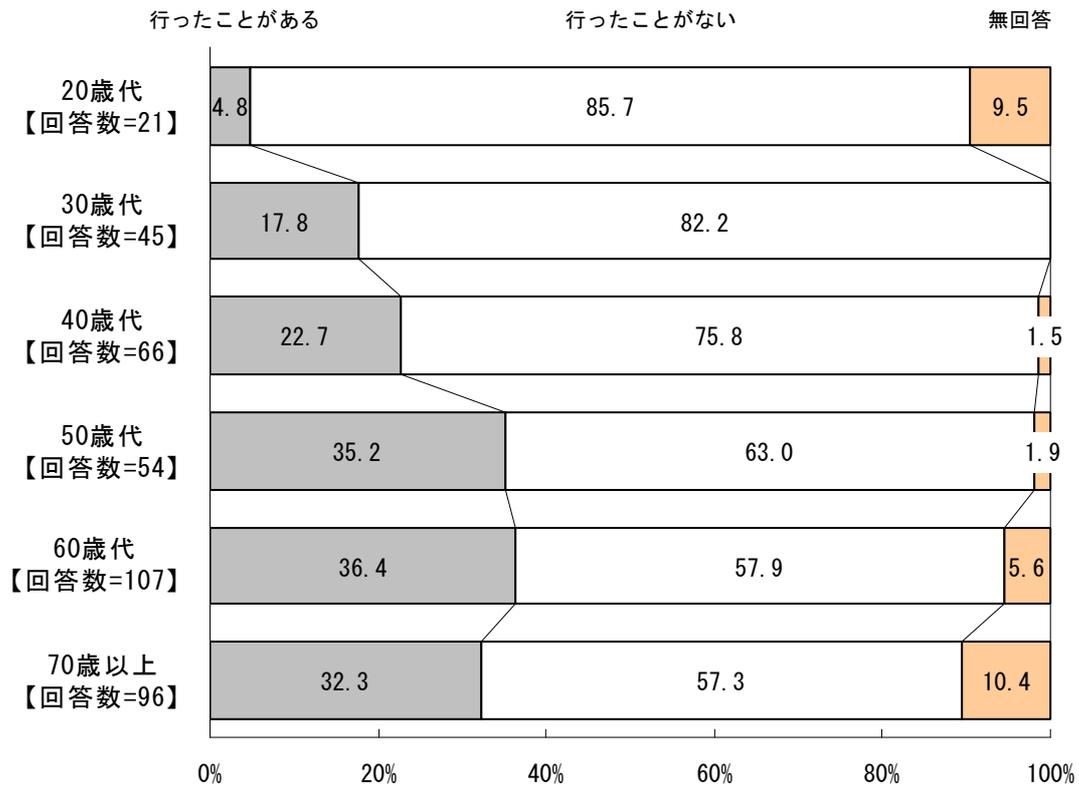
「男女共同参画センター・イコーラム」を知っている人の利用状況をたずねた。「行ったことがある」が29.1%、「行ったことがない」が65.8%となっている。（図4-7）

図 4-8 性別 「男女共同参画センター・イコーラム」の利用状況



性別にみると、『女性』で「行ったことがある」が30.3%となっており、『男性』に比べ3.4ポイント高くなっている。（図4-8）

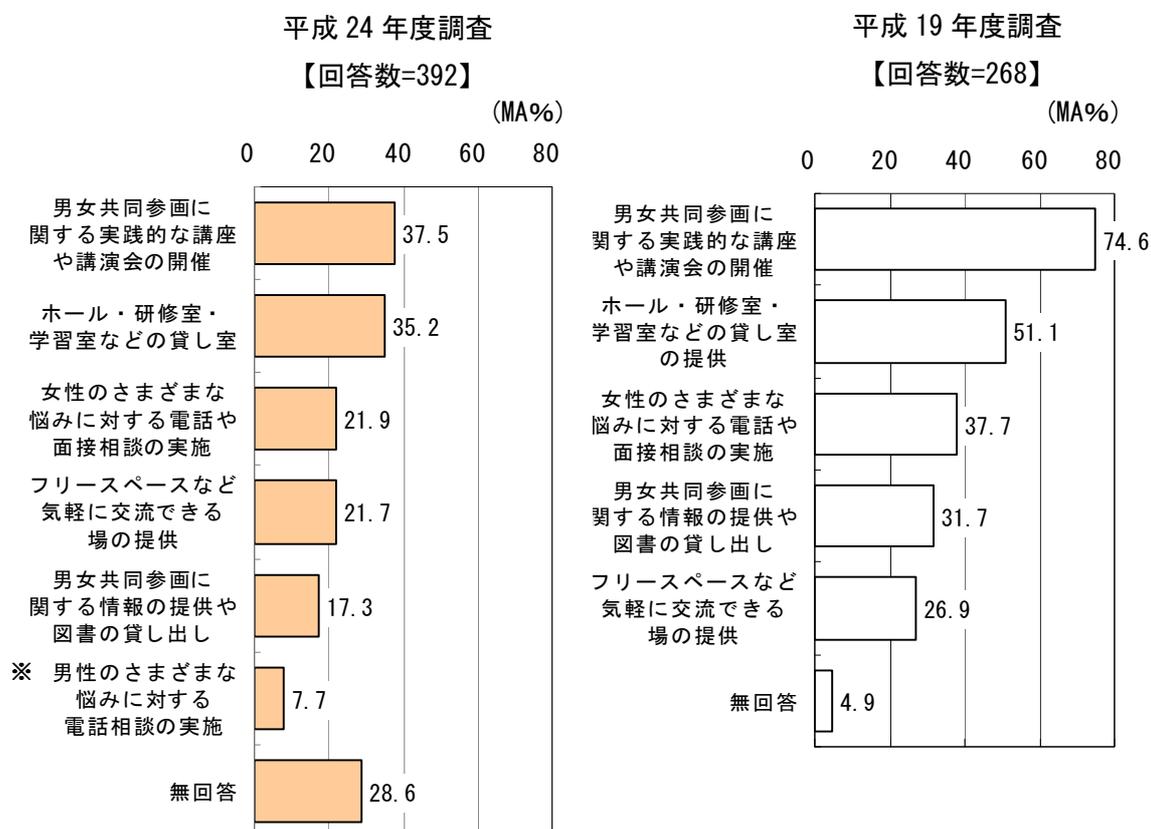
図 4-9 年代別 「男女共同参画センター・イコーラム」の利用状況



年代別にみると、『50歳代』以上で「行ったことがある」が30%を超えている。一方、『30歳代』『40歳代』で20%前後、『20歳代』で4.8%にとどまっている。また、年代が上がるにつれ「行ったことがない」が低くなっている。(図 4-9)

問 18-3. 「男女共同参画センター・イコーラム」では、次のような事業を行っています。この中で、あなたが知っているものはありますか？  
(〇はいくつでも)

図 4-10 「男女共同参画センター・イコーラム」の事業認知状況（複数回答）

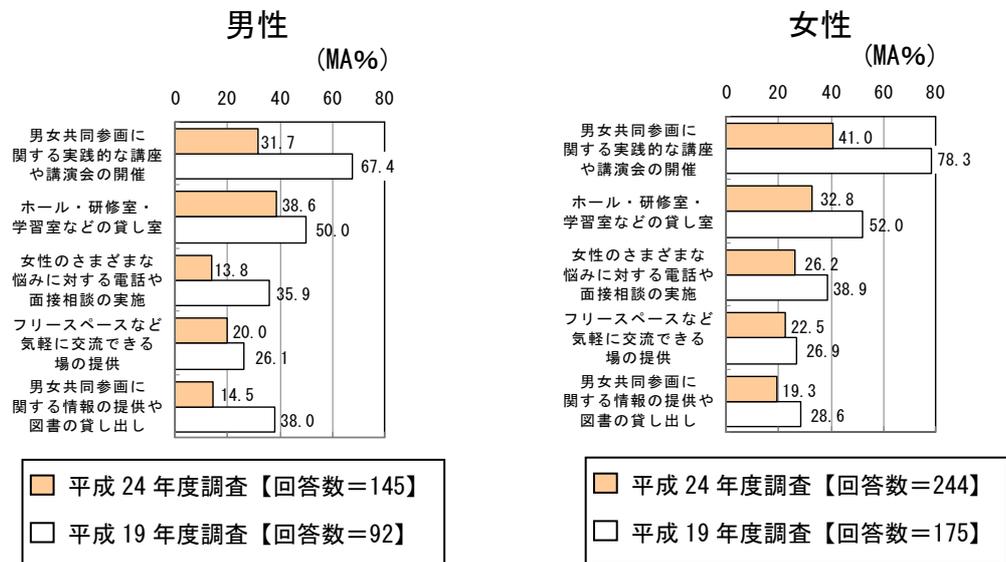


※「男性のさまざまな悩みに対する電話相談の実施」は平成 23 年度より開始した事業

「男女共同参画センター・イコーラム」を知っている人の事業認知状況をたずねた。「男女共同参画に関する実践的な講座や講演会の開催」が 37.5%と最も高く、次いで「ホール・研修室・学習室などの貸し室」(35.2%)、「女性のさまざまな悩みに対する電話や面接相談の実施」(21.9%)、「フリースペースなど気軽に交流できる場の提供」(21.7%)などの順となっている。

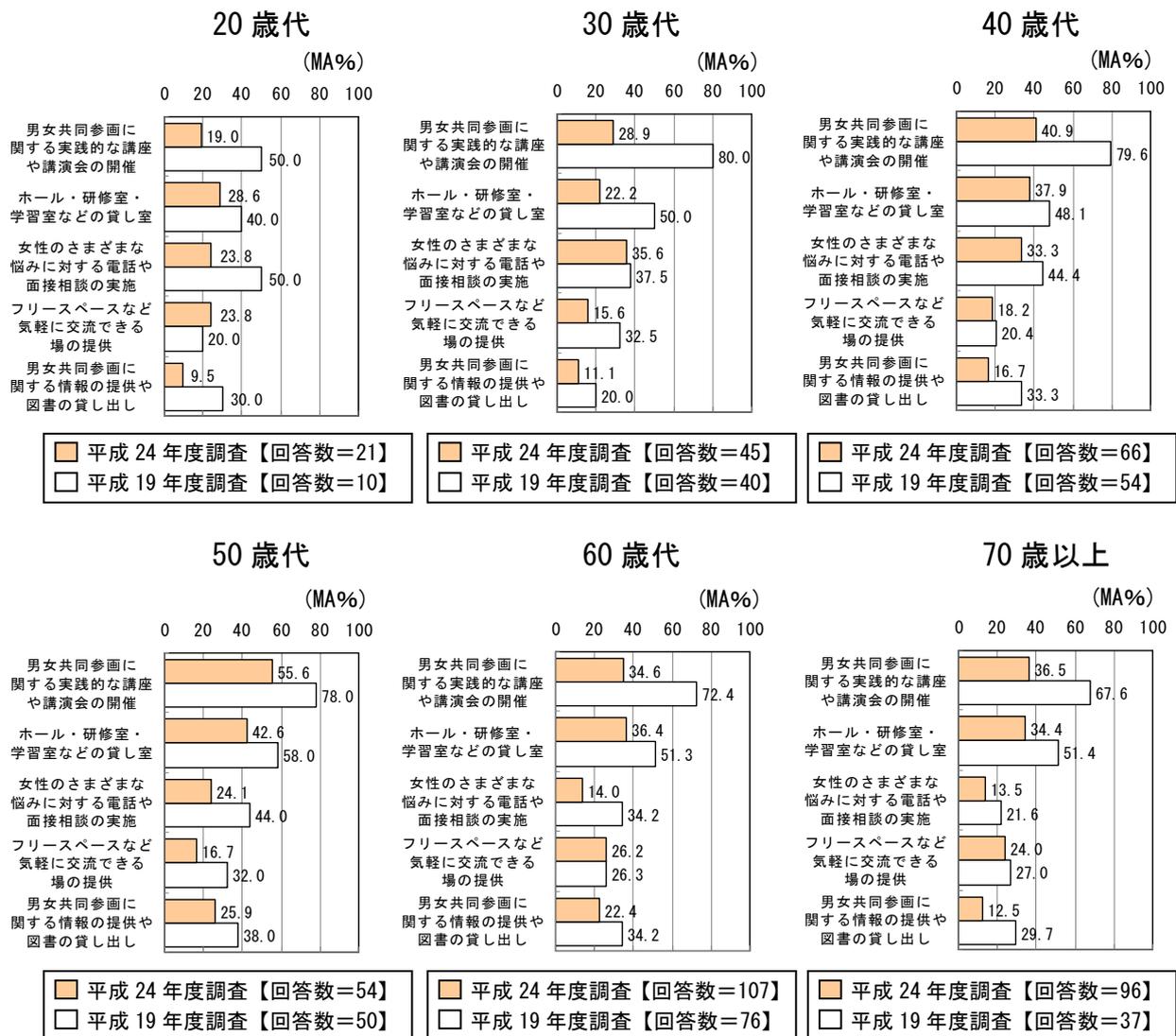
平成 19 年度調査と比較すると、本年度調査で「無回答」が 28.6%と非常に高かったこと及び回答方法が“無制限の複数回答”であることから、各項目の割合年次比較(増減比較)は出来ないが、回答の傾向としては上位 3 位まで同様の傾向となっている。(図 4-10)

図 4-11 性別 「男女共同参画センター・イコラム」の事業認知状況  
【上位5項目】（複数回答）



性別に上位5項目をみると、『女性』で全体と同様の傾向となっているが、『男性』で「ホール・研修室・学習室などの貸し室」が38.6%と最も高くなっている。（図 4-11）

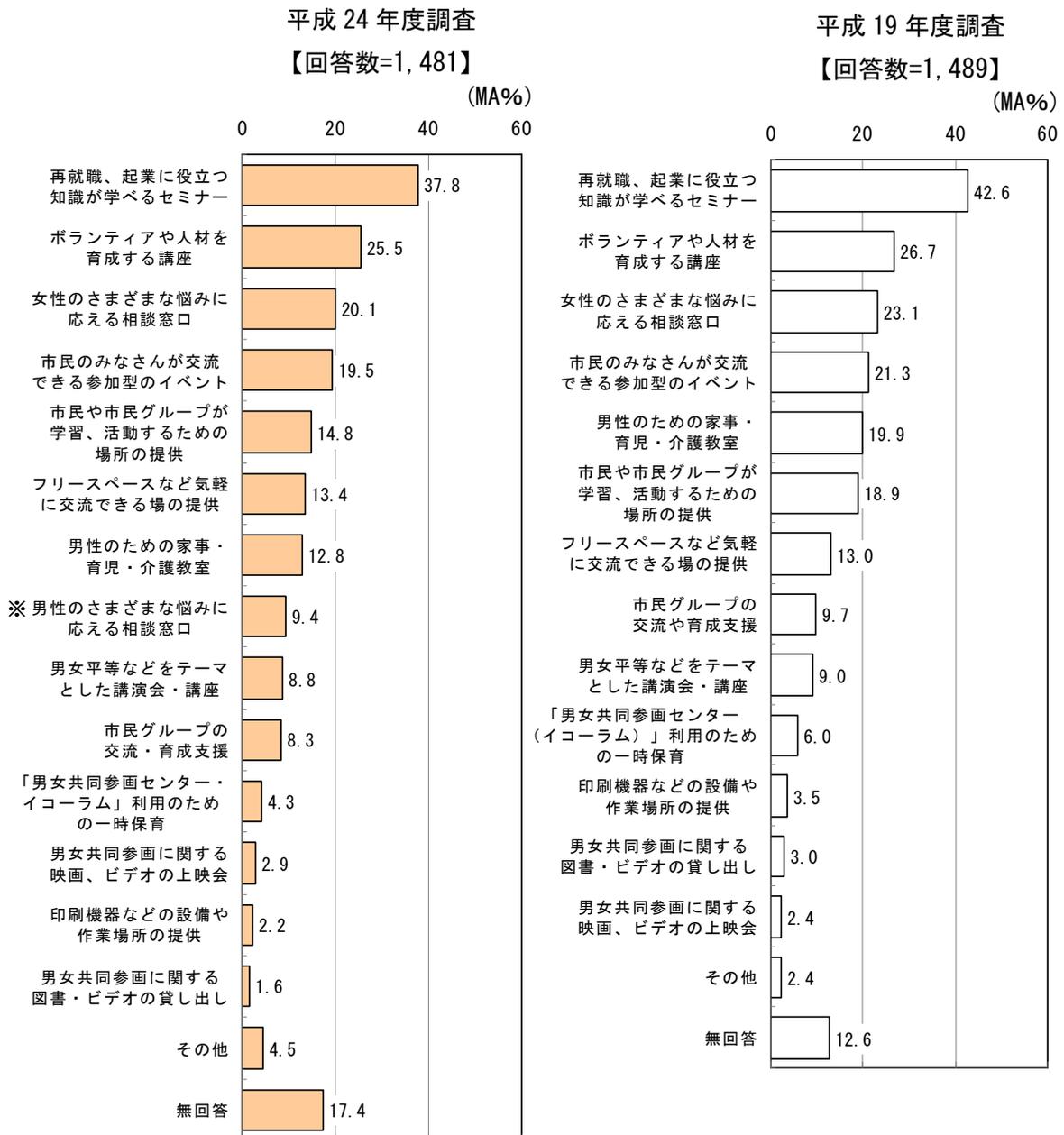
図 4-12 年代別 「男女共同参画センター・イコラム」の事業認知状況  
【上位5項目】（複数回答）



年代別に上位5項目をみると、『40歳代』『50歳代』『70歳以上』で「男女共同参画に関する実践的な講座や講演会の実施」が最も高くなっている。また、『30歳代』で「女性のさまざまな悩みに対する電話や面接相談の実施」が35.6%と他の年代に比べ高くなっている。(図 4-12)

問 19. あなたは、男女共同参画社会の実現に向けて、「男女共同参画センター・イ  
 コーラム」にどのようなサービスや役割を期待しますか？  
 (〇は3つまで)

図 4-13 「男女共同参画センター・イコーラム」に期待するサービス・役割 (複数回答)

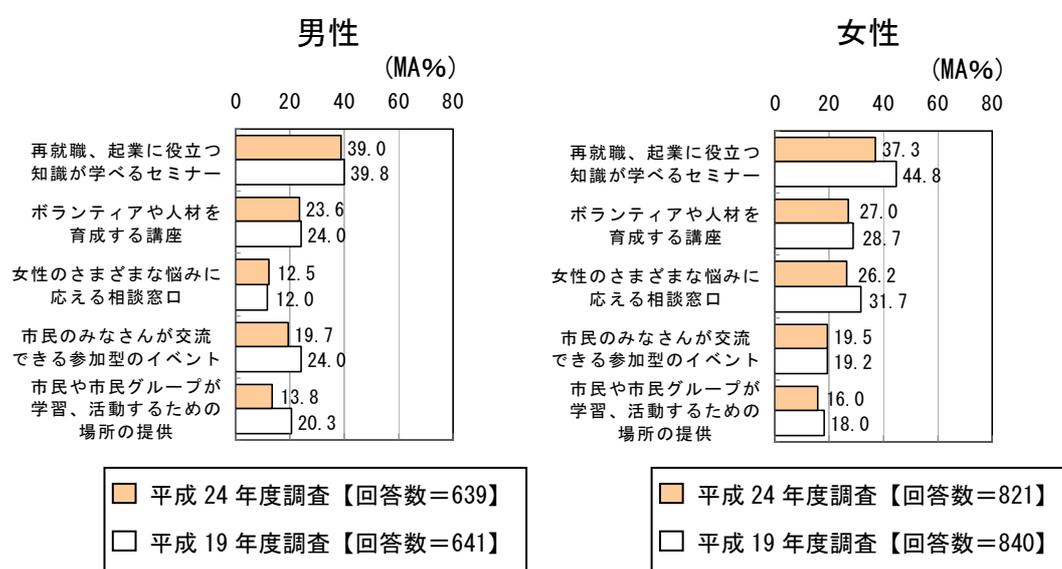


※「男性のさまざまな悩みに応える相談窓口」は平成 23 年度より開始した事業

「男女共同参画センター・イコーラム」に期待するサービス・役割をたずねた。「再就職・起業に役立つ知識が学べるセミナー」が37.8%と最も高く、「ボランティアや人材を育成する講座」(25.5%)、「女性のさまざまな悩みに応える相談窓口」(20.1%)、「市民のみなさんが参加できる交流型のイベント」(19.5%)などの順となっている。

平成19年度調査と比較すると、上位4項目までは順位とも同じとなっているが、本年度調査で5位に「市民や市民グループが学習、活動するための場所の提供」が14.8% (平成19年度調査では6位) となっている。(図4-13)

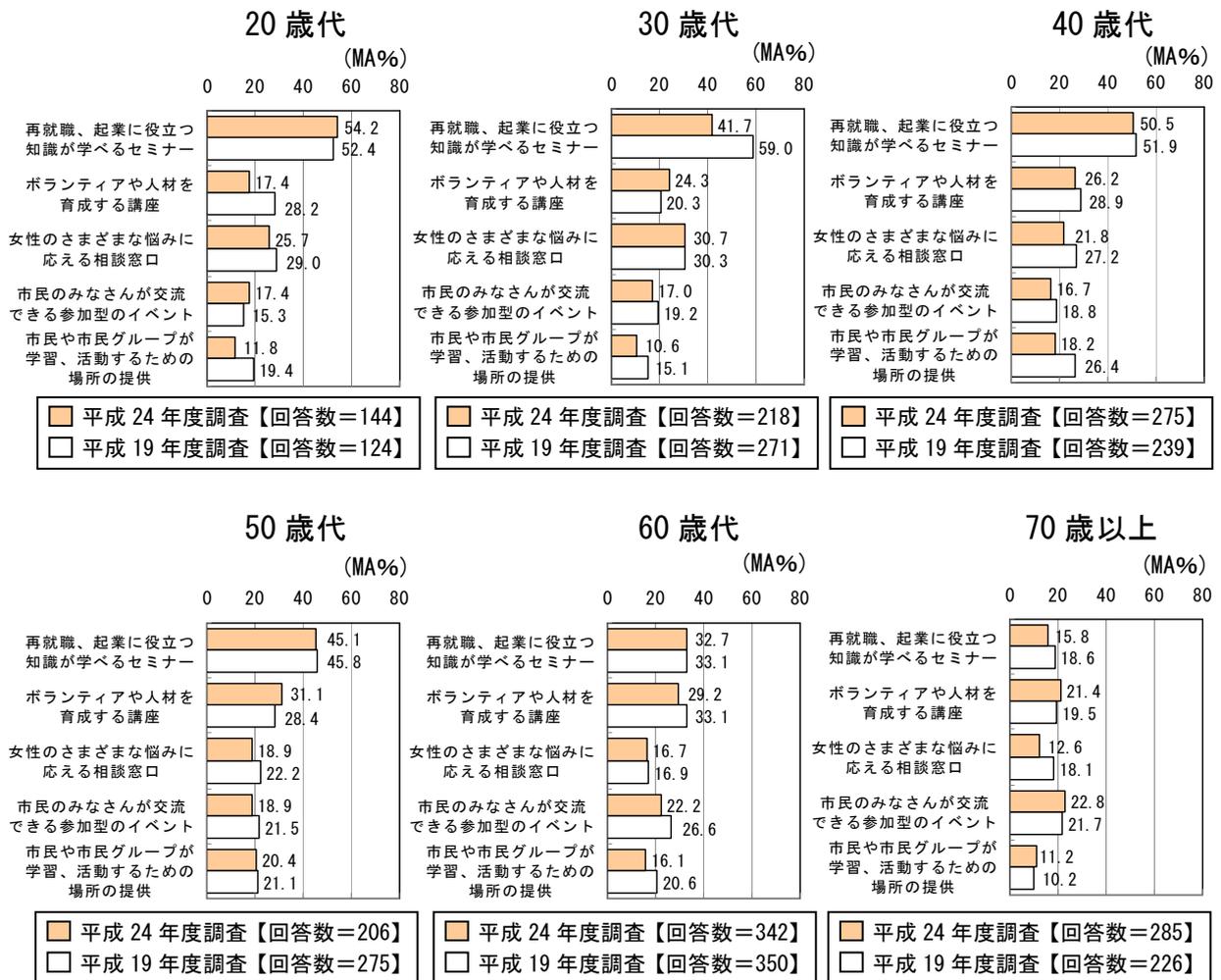
図4-14 性別 「男女共同参画センター・イコーラム」に期待するサービス・役割【上位5項目】(複数回答)



性別に上位5項目をみると、『女性』で全体と同様の傾向となっている。『男性』で「女性のさまざまな悩みに応える相談窓口」が12.5%と低くなっている。

平成19年度調査と比較すると、男女とも殆どの項目で本年度調査の方が低くなっている。(図4-14)

図 4-15 年代別 「男女共同参画センター・イコーラム」に期待するサービス・役割  
【上位5項目】（複数回答）



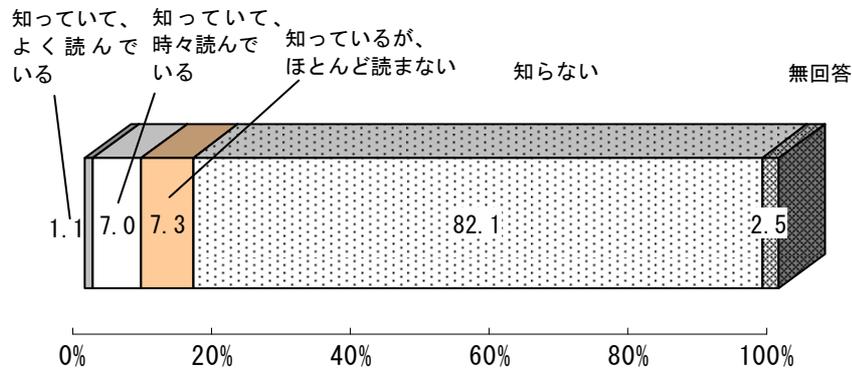
年代別に上位5項目についてみると、『70歳以上』を除き「再就職、企業に役立つ知識が学べるセミナー」が最も高くなっている。

『70歳以上』で「市民のみなさんが交流できる参加型のイベント」が22.8%と最も高くなっている。

平成19年度調査と比較すると、いずれの年代、いずれの項目もほぼ同じ割合になっているが、『20歳代』で「ボランティアや人材を育成する講座」が10.8ポイント(28.2-17.4)の減少、『30歳代』で「再就職、起業に役立つ知識が学べるセミナー」が17.3ポイント(59.0-41.7)の減少となっている。(図4-15)

問 20. あなたは、この情報紙「HOW」を知っていますか？（○は1つだけ）

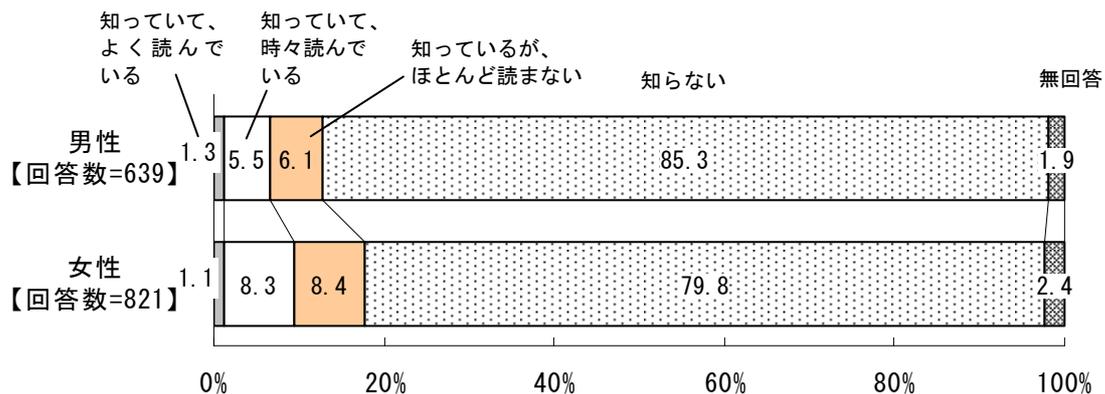
図 4-16 情報紙「HOW」の認知度・閲読状況



【回答数=1,481】

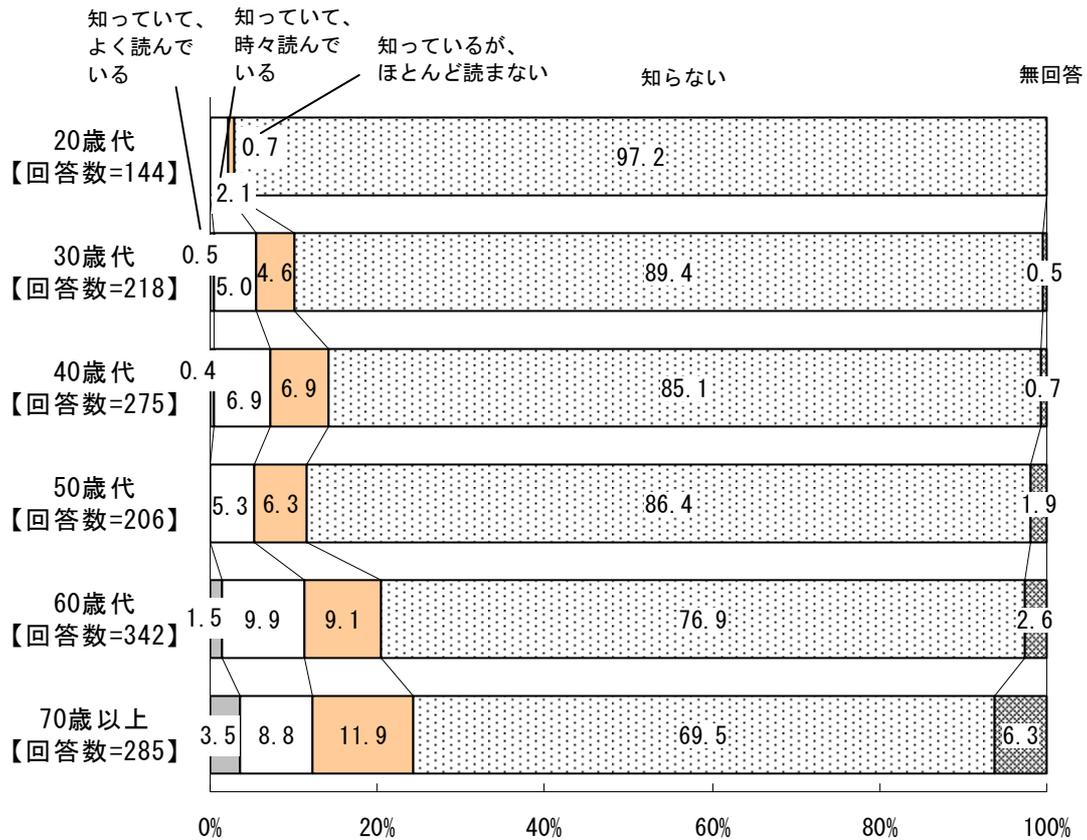
情報紙「HOW」の認知度・閲読状況をたずねた。「知らない」が82.1%と最も高く、次いで「知っているが、ほとんど読まない」が7.3%、「知っている、時々読んでいます」が7.0%などとなっている。“知っている”（「知っている、よく読んでいます」+「知っている、時々読んでいます」+「知っているが、ほとんど読まない」）は15.4%となっている。（図 4-16）

図 4-17 性別 情報紙「HOW」の認知度・閲読状況



性別にみると、『女性』は“読んでいる”（「知っている、よく読んでいます」+「知っている、時々読んでいます」）が9.4%となっており、『男性』に比べ2.6ポイント高くなっている。（図 4-17）

図 4-18 年代別 情報紙「HOW」の認知度・閲読状況



年代別にみると、『70歳以上』で“読んでいる”（「知っている、よく読んでいる」＋「知っている、時々読んでいる」）が12.3%と最も高く、次いで『60歳代』で11.4%となっている。

一方、『20歳代』で「知らない」は97.2%と他の年代に比べ最も高くなっている。（図4-18）